

# すだちの輪

2025.7.10

No.162

杉並障害者自立生活支援センター すだち

〒167-0035 杉並区今川2-14-12 すだちの里すぎなみ内  
TEL 03-5310-3362 FAX 03-5310-3561



すだちの輪  
QRコード

## グループホームへ移行を考えた時の課題事例

支援センターすだちの利用者の約半数がグループホームを利用されています。次に多いのはご家族と一緒に生活です。グループホーム（以下、GHと表記）等を探し始めるのは、同居ご家族の加齢などがきっかけになる方が多い傾向です。

今回、支援センターすだちでGH探しのサポートさせて頂いた方の中で、GH利用に際し課題と指摘される事例をお知らせいたします。

### ◇事例① 休日のスケジュールの組み方は

GHの体制として、基本的には休日の日中支援については公費助成がなく、支援側の人件費負担額が大きくなること、人手不足も相まって、平日と同様に9時～16時頃までは支援者が不在になるGHも少なくありません。

ただ、個人によっては一人で過ごせたり、緊急時に自分からヘルプを求められる方は、休日の食事を各自が準備して食べたり、ドアの施錠を管理し外出をするなどで、各GHの状況に合わせて生活している所もあります。

5～6月でGHの見学や体験をされた方は、どの方も支援区分が高く、年齢や環境も様々で、共通する点は「本人からヘルプの発信が難しいことでした。この場合、利用者には、休日の日中の見守りが必須になります。」

現在「ご家庭の生活からGHへ移行を希望されていた方は、生活に慣れるまでは「休日は帰宅する」ことを希望されていました。また体力がある方々では、帰宅時は移動支援を利用し外出することを考えているとお話がありました。

一方、年齢の高い方になると家庭状況から帰宅する選択肢がなくなり、

「ご本人も加齢により徐々に体力が減ってくる中で、平日は作業所へ通所。もしGHでは休日毎に長時間の外出スケジュール利用となると、疲労が蓄積し健康に影響する可能性が高くなります。生活の中で、体力を回復させる時間の確保は欠かせないことです。」

見学・体験をさせて頂いたGHはどこも魅力的でしたが、年齢・体力を考慮し、近い将来を見据えた生活スケジュール・環境を、整理・検討していく必要を感じました。

### ◇事例② 家族対応の継続に不安

家族の健康に不安がある、本人の行動が変化したなど、本人・家族と一緒に生活を続けたい思いはあるが継続する事への不安の相談が複数件ありました。

介護が限界となってきたからの相談となると、安全・生活の確保が最優先となるため、希望する場所となりにくい事、急な環境変化による本人の不安が強くなる事があります。

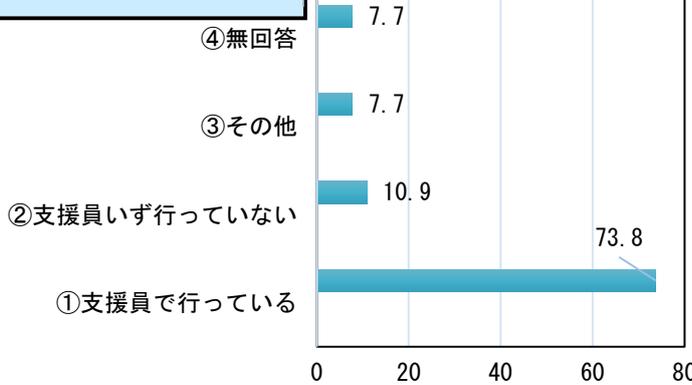
生活が心配になってきた時点で、考え行動し、知って選択するゆとりが少しある状態ですので、本人・家族が一つでも多く安心が増える移行に繋がっていきます。相談から始まると1年以上かかっています。本人・家族のペース、グループホームと出会うタイミングなどかかる期間は前後しています。

本人・家族が知っているグループホームの情報を基に、会話での情報提供と見学を重ね、望む住まいの理想と現状のすり合わせを行い、希望する生活を見出ししていきます。

自宅とGHでは出来る事・出来ない事が異なりますので、グループホームはどんなものか・グループホームごとの特徴はどんな感じかを知り深める事とともに、本人が体験できる事を大切にしています。入居の可否を問わず、体験・経験する事がその先の具体的な比較や選択へ繋がっていきます。グループホームも数字や文字情報だけでなく実際に向き合い対応することで利用希望者を知り、現実的な判断に繋がります。

弊所では日頃からグループホームを探し、情報を得たら可能な限り事前に見学面談し、パンフレットには無い情報をお伝えできるように取り組んでいます。支援が多く必要な方が対象となるグループホームはやや増加傾向にあります。またまだ不足しています。

全国土日祝日等の日中支援(%)

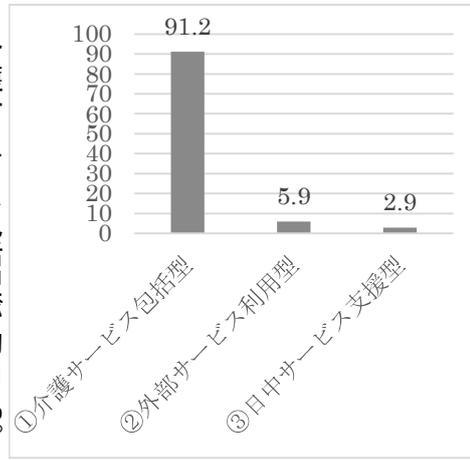


# 全国のグループホームの動向情報です

← 一面続き

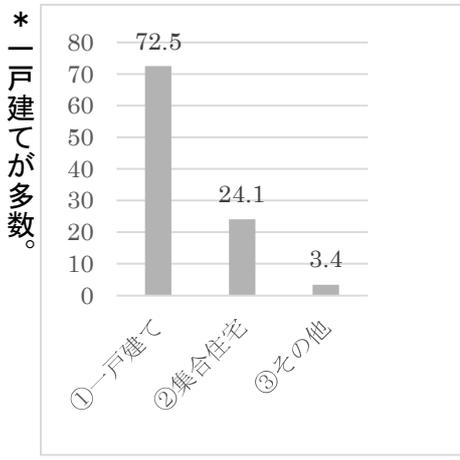
日本知的障害者福祉協会が、令和5年度に行った全国グループホーム実態調査結果をお知らせいたします。

## ①グループホームの形態は



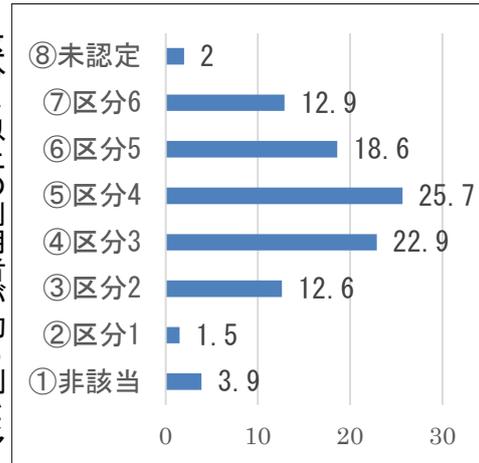
\*介護サービス包括型が約91%。

## ②建物の構造は



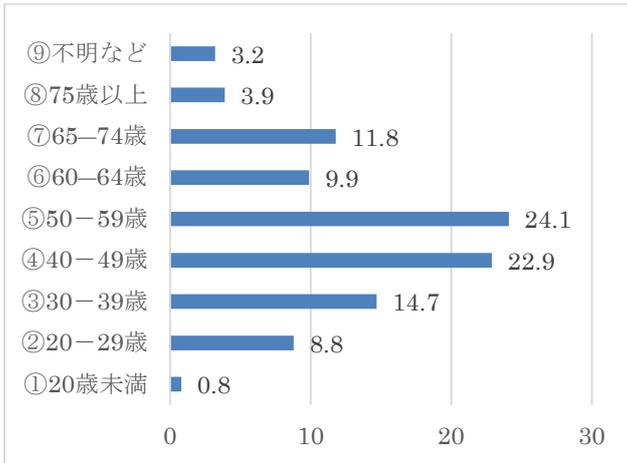
\*一戸建てが多数。

## ③利用者の支援区分分布は



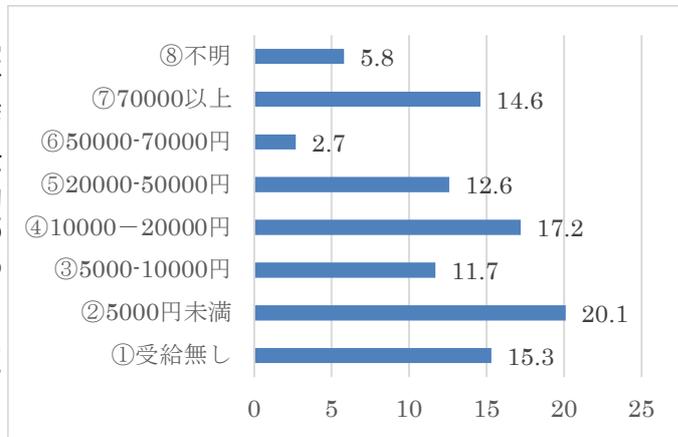
\*区分4以上の利用者が約6割と多い傾向にある。

## ④利用者の年齢は



\*50歳代が最多で約24%、50歳以下が約46%、60歳以上が約29%となっている。

## ⑤工賃・給与等の受給状況は

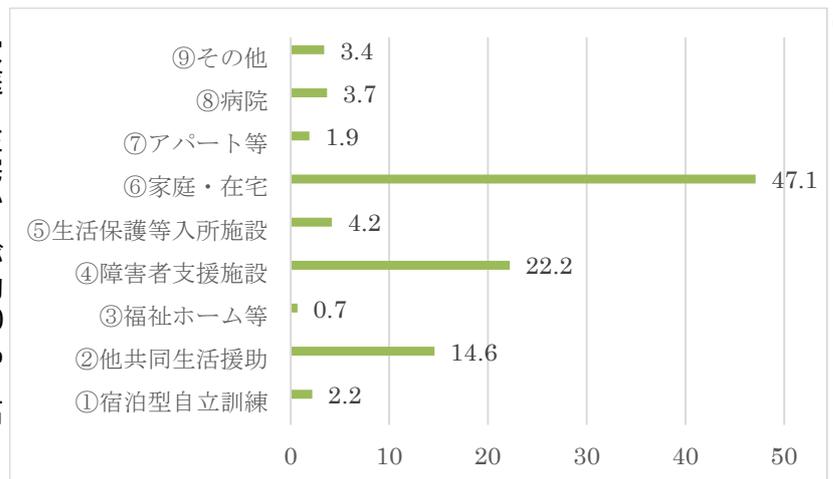


\*受給無しが約15%！一万円未満が約50%と、厳しい数字。

## ⑥年金等の受給状況は

受給状況	割合 (%)
①受給無し	3
②障害基礎年金1級	30.6
③障害基礎年金2級	52
④生活保護	5.3
⑤不明	9.2

## ⑦新規入居者の状況は



\*家庭・在宅からが約50%と高い。約15%が他のグループホームからであった。入所施設からの移行が約22%。

## ⑧利用者の日中活動の状況は

活動状況	割合 (%)
①生活介護	39.5
②就労継続B型	35.2
③一般就労	13.9

# 石川県 輪島カブーレ・地域拠点を見学しました

今年2月に講座「能登半島地震・豪雨から学ぶ防災講座」で講義をしていただきました「輪島カブーレ」を訪ねました。講師と面会する事は叶いませんでしたが、輪島の状況を含めて報告します。

輪島は解体が進み更地が増えたような状況でしたが、被災から1年半経ったのか疑問に感じるほど損壊・潰れた家や隆起した道が未だ多く残っていました。輪島を出入するのは業者のトラックばかりです。

輪島市は7月1日時点で736世帯が未だに仮設住宅で生活をしていません。学校からは子どもが楽しげに騒いでいる声が聞こえますが、それ以外で生活の動きは工事以外でほぼ見られず、観光地にも戻れていない、何とも言語化できない町の様相でした。



上：1階が潰れた家  
下：五島屋跡地



コミセンマリンタウン BASE  
建物周辺に仮設住宅マリンタウン団地が立ち並ぶ  
コミセンは門前・鳳至でも整備

輪島カブーレは震災前からある町づくりの地域拠点で、その中には障害GH・介護デイサービス・銭湯・飲食店・スポーツジムなどがあります。こちらでも業者が入りし作業をしていました。

飲食店内はGH利用者やデイサービス利用者も昼食をとり、食事をする方や銭湯を利用する一般客がそれなりにいます。住民は入湯無料、輪島で飲食できる場所が非常に限られている事も要因と思います。障害がある方も番頭や飲食店での対応・提供などに勤しんでいました。雰囲気は非常にゆったりとしていました。

今年4月、仮設住宅団地に「コミセンマリンタウンBASE」という包括的支援拠点を開所しました。仮設住宅に住む方の見守り・相談対応・交流を行っています。仮設住宅を訪問する支援者と思われる方が住宅の一室へ声を掛ける姿を見かけました。

点在する仮設住宅エリアを見て回って真先に思ったことは「此処に障害がある方と介護者が住めるのか」という疑問でした。それくらい狭く・壁が薄かったのです。

世帯のプライベート空間は避難所に比べると確保されますが、個人のプライベートを確保するのは配当される部屋次第としました。

石川県の仮設住宅の整備概要では浴室・トイレ等含め1.5人で1K 20㎡、2.5人で2K 30㎡、4人以上で3K 40㎡とあり、2階建てもあります。車いす仕様は2K 40㎡です。県の面積・人口・資源が東京と異なるため、東京で被災となったら異なる難局があるでしょう。

超臨時的とはいえ、本人・介護者がプライベートと社会活動のバランスが取れず、孤立してしまう様な状況への危機感を持ちました。  
杉並なりの防災を考え発信していく機会の必要性を感じています。

## 8月1日から支援センターすだちの職員体制が変わります

かんりしゃ おぐら くにあき  
管理者：小倉 邦昭  
そうだんいん あおと さとこ  
相談員：青砥 智子

まつした たかひろ さとう ひろみ  
松 下 恭 広 佐 藤 弘 美

※齋藤 絵理子は8月1日付で異動となります  
大変お世話になりありがとうございました

引き続きよろしくお願ひします



# クラブ活動のお知らせ



予約受付：9：00から開始

9月分 8月1日(金) 10月分 9月1日(月)

◆アートクラブ 定員7名 会場 すだちの里 地域交流室 時間 9：30～11：00  7月 5日(土)・19日(土) 8月 2日(土)・16日(土) 9月 6日(土)・20日(土)	◆リトミック(二部制)定員6名 会場 すだちの里 地域交流室 時間①10：00～10：45 ②11：00～11：45 7月27日(日)…各2部制 8月24日(日) 9月28日(日)	◆ユニカール 定員9名 会場 すだちの里 地域交流室 時間 13：00～15：00 <b>開催案内をお送りします</b> 7月27日(日) 8月24日(日) 9月28日(日)
--	--	---

■初めて参加する方は見学をお願いしています。  
支援センターすだちにお問合せください

■中止・変更の際は予約をいただいた方または関係者にご連絡します。

■不参加の際は予め支援センターすだちへ連絡をお願いします。

予約・問い合わせ：支援センターすだち ☎03-5310-3362

・第一週 7日(日)	・第二週 13日(土)	・敬老の日 15日(月)	・第三週 21日(日)	・秋分の日 23日(火)	・第四週 27日(土)	【9月】	・第一週 3日(日)	・第二週 9日(土)	・山の日 11日(月)	・第三週 17日(日)	・第四週 23日(土)	・第五週 31日(日)	【8月】	・第一週 6日(日)	・第二週 12日(土)	・第三週 20日(日)	・海の日 21日(月)	・第四週 26日(土)	【7月】
---------------	----------------	-----------------	----------------	-----------------	----------------	------	---------------	---------------	----------------	----------------	----------------	----------------	------	---------------	----------------	----------------	----------------	----------------	------

## 支援センターすだち 定休日のお知らせ



### メガホン

年度が変わりますと、お会いしている方々  
が変わる場面が多くなります。

まずは相談いただいているご本人、ご家族  
が変わります。学校生活から、社会生活の場  
(会社や作業所などへ)に移る方、ご家族では  
仕事場の転勤など。この場合、相談支援事業  
所は、ご本人や介助同居者の、その後の生活  
に必要な支援ある環境設定が動きます。

人の変化は、地域の方々にも見られます。  
何かとお世話になってきた商店や町会の役  
員の方、民生委員の方であったり、近所の知  
り合いの方の時もあつたりします。変わるこ  
とを知ったら、極力お礼と、次の方の紹介を  
お願いしたいと思っています。

また、サービス提供いただいています各種  
の事業所の方の交代もあります。ヘルパーさ  
ん・世話人さん・支援員さん。それぞれの  
利用者さんをめぐる支援について積み上げ  
てきたことを、出来るだけたくさん引き継ぎ  
たい、と焦つたりします。

杉並区の担当職員の入替わりにも出会  
います。制度利用の目的は同じですが、これ  
までの経過を共有したく、挨拶します。

相談者のお役に立つべく、たくさんの方々  
と連絡を取らせていただき、お力をいただい  
て、相談支援の役割が進められると実感し感  
謝する時期です。

(支援センターすだち 佐藤弘美)